

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公開番号】特開 2020-75614 (P2020-75614A)
 【公開日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-020
 【出願番号】特願 2018-209983 (P2018-209983)
 【国際特許分類】

B 6 0 H 1/32 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/32 6 1 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

車室内と車室外とを仕切る仕切り壁（91）と、前記仕切り壁を斜めに貫通するように設けられている配管（32、33、42、43）とを有する車両に用いられる配管シール部材（50）であって、

前記配管シール部材が前記仕切り壁に装着された状態において、前記配管の軸方向に沿うように前記仕切り壁に対して斜めに延びている筒状部（52、62）と、

前記筒状部の径方向内側に向かって前記筒状部から突出して設けられ、前記配管に対して直交する方向に押圧した状態で前記配管と接触している環状シール部（51、61）と、

前記筒状部の前記径方向外側に設けられ、前記配管が貫通した状態の前記仕切り壁に前記配管シール部材を装着するための装着用外周部（58）とを備え、

前記筒状部は、前記装着用外周部と接続されており、かつ、前記配管を挟んで一方側と他方側とにおいて前記軸方向に沿った長さが異なっている配管シール部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

ここに開示された配管シール部材は、車室内と車室外とを仕切る仕切り壁（91）と、仕切り壁を斜めに貫通するように設けられている配管（32、33、42、43）とを有する車両に用いられる配管シール部材（50）であって、配管シール部材が仕切り壁に装着された状態において、配管の軸方向に沿うように仕切り壁に対して斜めに延びている筒状部（52、62）と、筒状部の径方向内側に向かって筒状部から突出して設けられ、配管に対して直交する方向に押圧した状態で配管と接触している環状シール部（51、61）と、筒状部の径方向外側に設けられ、配管が貫通した状態の仕切り壁に配管シール部材を装着するための装着用外周部（58）とを備え、筒状部は、装着用外周部と接続されており、かつ、配管を挟んで一方側と他方側とにおいて軸方向に沿った長さが異なっている。